



落石地区マリンビジョンニュース



落石地区マリンビジョン協議会では、様々な人たちと連携してビジョンを実現するために取り組んでいます。その取り組み内容を随時お知らせするため、「落石地区マリンビジョンニュース」として定期的に発行しています。

ご感想、ご意見等お寄せ下さい。

発行・編集：落石地区マリンビジョン協議会事務局

おちいし岬フットパス大会 開催！！



木道コース



落石岬灯台

8月9日(土)におちいし岬フットパス大会が開催され、81人が参加しました。前日まで雨が降った影響により、当日の歩くコースを若干変更し、三里浜海岸に行ってから旧落石無線局を經由して落石灯台を目指して歩きました。毎年、秋の時期に開催していましたが、旧無線局跡で開催しております「落石計画」と合わせて開催し、コースを歩く途中に寄ることができ、アーティストの展示作品の見学も行われ参加者は芸術を満喫しておりました。また、根室海上保安部の落石岬灯台の一般開放で、灯台からの景色を眺め、その後は、大会参加者はコースを2時間ほど歩き終わってからは落石漁業協同組合にて、海鮮工房霧娘より落石産の海産物を使用した特製弁当と三平汁が提供され、大会参加者は落石の海産物の味を堪能していました。



「落石計画」作品展示

第10回大地みらいフットパス・ウォーク開催

9月27日(土)に、おちいし岬フットパスコースにて、第10回大地みらいフットパス・ウォークが開催され、約120名が参加しました。落石漁協を起点に、旧落石無線局跡や落石岬灯台を通るコースを大会参加者は約3時間かけて歩きました。途中で、落石岬にあります国立環境研究所地球環境モニタリングステーションを見学し、研究所の職員より温室効果ガスが発生する仕組みなどについて説明を受けました。参加者は、落石岬周辺の雄大な景色に満足していた様子で、フットパスコースを歩いた後には、落石漁協にてサンマとイカが提供され、落石の海産物の味を堪能していました。



モニタリングステーション



コースを歩く参加者

専修大学生による定置漁業の視察



説明を聞く学生

根室管内1市4町から成るインカレねむろ事業推進協議会が今年度から大学のゼミ合宿誘致をし、根室市内で専修大学の学生20人が、根室フットパス利用促進のためのツール開発をテーマに合宿を行い、地域活性化へ、人口減少や観光資源の活用といった課題を研究しています。その中で、地域内の資源を有効に活用するため、9月11日に落石市場に定置漁業について視察に訪れました。根室地方の観光は宿泊を伴わない通過型が中心であり、この合宿によって、課題を研究してもらい、課題の解決を導き、将来は親近感を抱いた若者たちの移住、定住につなげてほしいと思います。

「しお風」販売促進PR 広島県



直接消費者に説明

9月27、28日の2日間に、落石の水産物の消費拡大やオリジナルブランド「しお風」の認知向上を目指し、広島県内のスーパーにて、しお風ブランドとして生鮮サンマと秋鮭の切身を販売しました。昨年は兵庫県の大手スーパーで行われ、今年は広島県をはじめ中国地方に54店舗を展開するスーパー「フレスタ」の5店舗で販売が行われました。生鮮サンマは大型サイズで、しお風ブランドで販売している「沖詰さんま」であり、秋鮭も4kg以上の雄を中心に、しお風ブランドで販売している「船上活締め秋鮭」となっています。売れ行きは好調で夕方までには完売し、消費者らはサンマの大きさなどに驚いていました。今回の活動で、消費者に直接違いを説明し、理解してもらうことで「しお風」ブランドの認知向上や流通拡大につなげればと思います。



船上活めあきさけ「しお風」



船上沖詰さんま「しお風」

第30回ねむろ産業フェスティバル 出店



販売ブース

10月5日(日)にニホロ特設会場にて、第30回根室産業フェスティバルが開催され、落石漁協と落石漁協女性部並びに海鮮工房霧娘が出店しました。当日は、天候に恵まれ、各販売ブースでは販売開始前から商品の前で多くの人が並んでおり、一人で多くの商品を購入する姿が見られました。落石漁協からは、蛸、灯台ツブ、船上活締め秋鮭山漬が販売され、落石漁協女性部からは秋味鍋が販売され、他にも海鮮工房霧娘より落石の海産物を使用したタコザンギ、さつま揚げ、たこ飯が販売されました。今後は落石の海産物のブランド価値を高めていけるよう品質向上を目指して行きます。

クルーズ事業先進地視察(羅臼)



長谷川氏と懇談

9月27日に、羅臼町にてクルーズ事業で年間1万人以上の実績のある知床ネイチャークルーズへ先進地視察を行いました。羅臼町では3社がクルーズ事業を展開しており、予約で定員に達した場合は3社で共有し合っているとのことです。他にも、予定時間より早く帰港した場合には、羅臼の漁業や歴史について説明等をし、フォローしておりました。今回の視察では、落石地区と観光資源が違えども、同じような自然環境を生かした観光事業としては大変参考になったと思われます。

ユリ島清掃活動

10月25日(土)に、ユリ島のカシヨノ浜にて清掃活動を行いました。ユリ島の陸地にはゴミはありませんでしたが、浜辺にはゴミが多く打ち寄せられているのが見受けられました。ユリ島は、エトピリカ、ケイマフリ等の営巣地となっており、隣にあるモユリ島とともに国指定の鳥獣保護区に指定され、北海道の天然記念物にも指定されております。観光資源としても価値があり、多くの海鳥の営巣地としても存続できるように、今後は環境を維持し、保つことが必要になってくると思います。



ユリ島の野生馬

◆ ◆ ◆ 編集・発行・お問い合わせ先 ◆ ◆ ◆

- ◆ 編集・発行 落石地区マリンビジョン協議会事務局
- ◆ お問い合わせ 事務局 担当:根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当
電話:0153-23-6111 FAX:0153-24-8692

